



平成30年度 学校だより

緑 柏

No. 160

長崎県立佐世保南高等学校

平成30年 9月28日発行

発行責任者 下 釜 祐 保

昭和24年に新制高等学校・佐世保南北2校の一翼を担う「長崎県立佐世保南高等学校」として誕生した本校が、創立から70年の佳節を迎えました。今月9月は、70周年を祝う複数の記念行事を執り行いました。

2日(日)に記念体育祭、9日(日)に記念文化祭、そして22日(土)には本校体育館にて、創立70周年記念式典を挙行了いたしました。その様子は後述をご覧ください。

各記念行事・記念式典に対して、そして、この70年間、物心両面から本校に対して、ご理解とご協力をいただきましたことに、改めまして感謝を申し上げ、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

校長室の窓から

秋も学力も デジタルだ

校 長 下 釜 祐 保



暑さ寒さも彼岸まで。とにかく暑かった今年の夏だったが、秋分の日あたりを境に、めっきり秋が本格化した。異常気象だ、温暖化だと毎年言われるが、時を違えず今年も犬尾川周辺には、真っ赤な花が誇らしげに咲いている。曼殊沙華、いわゆる彼岸花である。思わず目を奪われ、改めて先人の教えの鋭さを痛感する。

春と比べられる秋だが、「春は少しずつ近づき、秋は突然現れる」と感じているのは私だけだろうか。浮かぶ童謡にも、

「春よ来い」

♪ はーるよこい はーやくこい

「ちいさい秋みつけた」

♪ ちいさいあき ちいさいあき ちいさいあき みーつけた

とあるように、この感覚は的を射ているかもしれない。

春は徐々に、秋は突然に…。

高校生の学力も、この秋の訪れ方によく似ていると、思えてならない。努力する高校生の学力は、右肩上がりの直線状、いわゆる1次関数のグラフかというところ、そうではないようだ。ちょうど階段グラフのように突然、グッと上昇するようである。

もう一つ、これによく似たものがタクシーのメーターである。しばらく走っても何の変化もないが、もうしばらく走るとその料金が突然カチャッと変わる。デジタル時計が次の時刻を突然表示するのと同じである。高校生の学力も、しばらく努力を続けなければ、カチャッというメーターの音は聞けない。タクシーが更に走り続ければ、その音のペースが速くなるように、学力も一度上がり始めると、本質や全体像を掴みかけた証であり、その後は加速的な向上が期待できる。

センター試験まで、あと100日余りになった受験生の中には、走っても走ってもカチャッという音がなかなか鳴らないというもどかしい思いをしている者も少なくないかもしれない。「あと数メートル、あと数日でカチャッと音がする」と、自分を信じて走り続けることが大切である。

秋も、学力アップも、タクシーのメーターも、突然カチャッとやってくる。

厳かに、70年の歴史と伝統 その思いを“南高魂”に…

○創立70周年記念式典

創立70周年記念式典が、本校体育館において9月22日（土）に執り行われました。式典前のオープニングでは、邦楽部による「花舞」の演奏、70周年記念事業のスローガンとロゴマークを考案した石隈志帆さん（3年）と坂口菜々子さん（3年）の表彰式が行われました。

式典では、諸先輩方の活躍や功績等に触れ、今日まで佐世保南高が多くの人に支えられてきたことを、改めて全校生徒と全職員が肌で感じることができました。また、これまで培われてきた伝統の重さと、南高生としての自らの使命を考える貴重な機会になり、常任委員長の高井伶遠君が「南高魂」を引継ぎ、新たな歴史を築いていくことを誓いました。

1年生の音楽選択者120名での記念合唱「ハレルヤ」は美しいハーモニーで歌い上げ、つづく、迫力のある出席者全員による校歌の歌声が会場内に響き渡り、一人ひとりの胸に迫りくるものがありました。

式後は、60周年時から今日までに、特に本校の教育活動に多大な功績をしていただいた10名の方々に対して、感謝状の贈呈が行われました。長年本校女子バスケットボール部をご指導いただき、昨年度県高総体優勝、そしてインターハイでも本校史上初の全国大会の勝利に貢献された、増田敏様が代表して感謝状を受けられました。

記念講演会は、本校25回卒業生で、九州工業大学学長の尾家祐二先生による、演題「豊かな未来のために一学ぶこと、考えること」が行われました。これから社会に旅立つ生徒達にとって、予測困難な時代の指針になる有り難いお話でした。生徒達は先輩からの熱いメッセージをしっかりと心に刻み、代表して、3年相川佳紀君がお礼を述べ、同じく3年の矢次結香子さんが花束を贈呈しました。

今回の式典は厳粛な中にも関係各位の熱い思いが感じられた、感動的な式典になりました。佐世保南高校は、卒業生、育友会、地域の皆さんと一つになって、80周年、100周年に向けて今日から更に頑張っていきたいと思います。お忙しい中にご臨席を賜りました皆さま、誠にありがとうございました。



○10月の行事予定



- | | | |
|--------|-------------|--------------------------|
| 1日（月） | 2日（火） | 前期期末考査 |
| 3日（水） | センター100日前集会 | 地域清掃活動 <1,2年> |
| 5日（金） | ～8日（月） | 秋季休業 |
| 5日（金） | | 桜が丘特別支援学校交流会 |
| 6日（土） | 8日（月） | 通い学習会 <3年> |
| 7日（日） | | ハイレベル模試 <2年> |
| 9日（火） | | 後期始業式 |
| 10日（水） | | 中学校の先生対象入試説明会 |
| 13日（土） | | 70周年記念野球南北交流戦（市営野球場） |
| 13日（土） | 14日（日） | 進研記述 <3年> |
| 15日（月） | ～23日（火） | 公開授業旬間 |
| 17日（水） | | 70周年記念南北合同芸術鑑賞会（アルカス佐世保） |
| 20日（土） | | 関西柏葉会 |
| 23日（火） | ～25日（木） | 乳幼児ふれあい体感事業 <1年> |
| 24日（水） | | 薬物乱用防止教室 |
| 27日（土） | | 大学別模試 <3年> 育友会親睦旅行 福岡柏葉会 |
| 29日（月） | | 心に響く人生の達人セミナー |

創立70周年記念「南高祭」

○記念体育祭

今年のテーマ『南高開華 ～咲かせよう 僕らの南高魂～』のもと、創立70周年記念体育祭を開催することができました。3年生を中心に各ブロックとも一致団結し、熱戦を繰り広げてくれました。結果は、Cブロックが総合優勝を勝ち取りましたが、どのブロックも1年生から3年生まで全ての生徒が全力で取り組み、南高生らしい潑刺とした態度で競技に参加しました。また、舞踊コンクールや応援合戦、南高大行進やパネルなど、様々な場面で3年生のリーダーシップによるアイデアや工夫が織り交ぜられて、記憶に残る、記念の体育祭となりました。

体育祭に向けて時間とエネルギーをかけた取り組みが、次は受験勉強や学校生活に活かされ、更なる生徒らの努力と粘りの連鎖に繋がるものと期待しています。



～ 結果 ～

総合の部 優勝	Cブロック
競技の部 優勝	Aブロック
行進の部 優勝	Cブロック
舞踊コンクールの部 最優秀	Cブロック
応援合戦の部 最優秀	Bブロック
パネルの部 最優秀	Bブロック

「南高祭」テーマ

南高開華 ～咲かせよう 僕らの南高魂～

○記念文化祭

前夜祭で行われた弁論大会で、1，2年生の学年代表4名が熱弁を披露しました。結果、2年3組・内山知美さんが、作品名「模索する道徳といじめ」で最優秀賞に輝き、学校代表として県大会への出場を決めました。

9日（日）に行われた70周年記念文化祭。文化部・クラスによるステージ部門・展示部門の発表に加え、恒例となった佐世保特別支援学校和太鼓部による実演などが行われ、例年以上の盛り上がりを見せました。育友会による喫茶店やバザー・カレーコーナーに加え、家庭部によるクッキー販売なども大変好評でした。

文化祭実行委員のアイデアと工夫によって創られたオープニングに続いて、全国総文祭に出場した邦楽部の演奏。ステージ上では各クラスの趣向を凝らした演劇やダンスが披露されました。恒例となったバトン部、吹奏楽部の演奏もハイレベルで見応えがありました。校舎内では写真部・美術部・書道部の作品が展示され、また茶道部のお手前披露などが行われました。「栄光の架け橋」の全校合唱と紙吹雪で彩られたエンディングでは、参加者全員がかけがえのない思い出を共有することができました。

文化祭の開催に際しまして、近隣地域の皆様方、育友会・柏葉会の皆様方にもたいへんお世話になりました。ご協力とご支援を賜りましたことに心から感謝申し上げます。



◎部活動

平成30年度佐世保地区高等学校新人体育大会ソフトテニス競技

(男子) 山中 叶登 (2年3組)・山北 智陽 (2年2組) ベスト8

吉福 亮介 (2年1組)・境内 稜 (2年2組) ベスト8

(女子) 一瀬 彩花 (2年2組)・深水 桜来 (2年3組) 準優勝

(※) 男子は4ペア、女子は5ペアが県大会へ出場します。

